

知って なるほど!
三重県立総合医療センター



呼吸ケアチーム (RST)の活動



RST (Respiratory Support Team) とは、呼吸が困難な患者さんを支える呼吸ケアの専門チームです。当院では2008年に看護師、臨床工学技士の4名でRSTを発足しました。現在は医師、理学療法士、薬剤師も加わり、多職種30名で活動を行っております。活動内容は、人工呼吸器管理や酸素



療法、排痰などの呼吸ケアに関して幅広く支援を行い、スタッフ教育や院内啓発にも努めております。

2010年に日本呼吸療法医学会と日本呼吸ケアリハビリテーション学会の2学会合同で『RST認定』が設立され、RST認定施設として当院も参画しており、長年の功績が評価され感謝状を拝受いたしました。

私たちRSTは地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、呼吸ケアの充実を通じて信頼できる医療を届けてまいります。

マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)をご利用ください

令和6年12月2日に健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを健康保険証を利用するための「顔認証付きカードリーダー」が設置されていますので、ぜひご利用ください。



マイナンバーカードの健康保険証利用には次のメリットが得られます。

メリット1

受付時にお薬の履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。



メリット2

マイナンバーカードを保険証として利用する際に、申請に必要な情報を提供することに同意すれば、限度額適用認定証がなくても限度額を超える支払いが免除されます。



三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

臨床研修基本理念・基本方針

臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和7年11月/発行号
所在地/〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132
電話/059-345-2321(代表) FAX/059-347-3500 メール/sogohos@mie-gmc.jp

MEDICAL CENTER NEWS

医療センターニュース

vol.103 2025
Autumn

TAKE
FREE
ご自由
にお持ちください



巻頭特集 脳神経外科

24時間365日の即応体制
最適な治療を提供

topics ■助産師の活動5
■インフォメーション6
■外来診療医師担当表7

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center



24時間365日の即応体制

症状に合った最適な治療を提供

人が人らしく生きるうえで、脳や神経はとても大切な器官だ。「脳に異変が?」と考えると少し怖いですが、そんな緊急時に患者さんと向き合っているのが脳神経外科である。三重県立総合医療センターでは、血管内にカテーテルを通して行う治療を専門とする医師がスタッフに加わり、メスなどの医療機器を使う外科治療とともに、患者さんに最適な治療法を提供できる体制を整えている。

人のからだ全体に及ぶ機能を守る

脳神経外科は、英語では「Neurosurgery」と書く。神経を表す「neuro」と、外科を表す「surgery」が組み合わさっている。「診療科の名前に『脳』という言葉が入るのは日本だけです」と、脳神経外科部長を務める亀井裕介医師が説明する。

脳を中枢に、脊椎（背骨）の間を脊髄と呼ばれる神経の束が通り、やがて体の隅々にまで行き渡る神経は、筋肉などに指令を与え、私たちが日常生活を普通に過ごせるようにしてくれる。しかし、高齢化による骨の変形などで神経が圧迫されると、手足にしびれなどが生じ、生活に影響する。脳の血管が詰まったり破れたりする脳卒中や脳腫瘍（頭蓋骨の中にできる腫瘍）のほ

か、交通事故や作業事故、スポーツのけがが原因になるものもある。

これら多くの症状に対応し、治療しているのが脳神経外科で、治療の対象は脳だけに限らない。脊椎脊髄外科部長を兼ね、外科手術の経験が豊富な亀井医師と、カテーテル治療を得意とする脳血管内治療科部長の佐野貴則医師の2人を中心に、患者さんに合った治療の方針を決めている。

身体にできるだけメスを入れず、患者さんの負担を少なくしようと進歩しているカテーテル治療だが、症状によってはメスによる外科手術の方が安全な場合もある。患者さんの希望も聞きながら、安全性を重視した、よりよい治療法を提供できるのが強みになっている。

脳神経外科のスタッフには、亀井医師、佐野

医師のほか、2017年に医学部を卒業した黒田祐輔医師、2023年卒業の田中皓大医師の若手や非常勤医師らが加わっており、チームで患者さんに向き合っている。

24時間365日いつでも対応

事故によるけがや脳卒中などは、いつ、患者さんが搬送されてくるか分からない。このため、脳神経外科では医師たちが24時間365日、いつでも急な手術に対応できる体制を取っている。夜間や休日など、医師が病院にいない場合でも、待機番を決めておき、呼び出しに応じてすぐに病院に駆けつけている。

交通安全の取組もあり、最近は交通事故での救急患者は減っている。一方、高齢化に伴う脳卒中、特に脳の血管が詰まる脳梗塞で運ばれる人が増えている。亀井医師は「点滴などによる内科的治療もありますが、最近は、カテーテルを使って詰まりを除き、血管を通す治療が増えています」と話す。



佐野貴則医師

佐野医師は「カテーテルによる治療では、病院に患者さんが来てから1時間以内に手術を開始して、血管の詰まりを通すことが必要とされ、迅速性が求められます。そのための24時間365日体制なのです」と説明する。

北勢地域の三次救急医療を担う

当院は四日市市を含む北勢地域の三次救急医療施設として三重県から指定を受けており、生命の危険がある患者さんを受け入れる救命救急センターを有している。そのため、脳卒中や交通外傷など、脳神経外科の治療が必要な症状の重い患者さんも搬送されてくる。

四日市が産業都市であるためか、佐野医師は「他の地域と比べて、脊椎のけがで運ばれる方が多いように思います。高所からの転落事故や



亀井裕介医師

機械による事故など、外傷は頭部に限らず、首から腰にかけての治療も多いです」と話している。

高度な治療技術を地域に

緊急搬送だけでなく、地域の診療所からの紹介で来院される患者さんへの対応も、当院の重要な役割だ。亀井医師は「高齢化が進むにつれて、脊髄や脊椎の疾患で苦しんでいる患者さんが増えており、手術でしか治らない重い症状の人も来院されます。緊急搬送されてくる方の対応などで、外来診療や予約の方をお待たせすることもあるのですが、脳神経外科の全員で協力して治療に当たっておりますので、ご理解いただければ幸いです」と話す。

顔面けいれん、顔の痛みを繰り返す三叉神経痛、多くの神経や血管が集まるために高度な治療技術が必要になる頭蓋底腫瘍などにも、よりよい治療ができるよう力を入れている。

脳卒中に他科と協力して対応

佐野医師は、命に直結する脳梗塞の急性期治療に長い間力を注いできた。2024年4月に当院に着任してからも、この地域で搬送される人を救うためにチームをつくっている。「この病院での脳卒中对応チームは、救命救急センターの医師や脳神経内科の医師、研修医も含めて連携しています。いかに早く治療するかを一番に考えて、みんなで協力して取り組んでいます」と話しており、特色ある治療体制になって

いる。

当院の勤務が22年になる亀井医師は、三重県内の他地域に比べて患者さんの年齢が若い傾向にあることも指摘する。「三重の南部などでは高齢化が非常に進んで、患者さんに手術ができないこともある。北勢地域でも高齢化は進んでいるのですが、他の地域に比べるとまだ若い傾向なので、手術による治療ができる場合も多い」と話す。手術件数は、亀井医師が着任した当時に比べると倍になっているそうで、「言い換えれば、四日市地域は脳神経外科医による治療がより求められているということなので、最適な治療を提供していきたいです」と話している。

治療後も地域と連携して支援

当院での治療後は、患者さんは紹介先の地域の診療所に戻るか、リハビリが必要な場合は専門的に受け付けている近隣の病院と連携して機能回復に努めてもらっている。佐野医師は「治療は当院で完結するわけではなく、リハビリ段階に入った後に、また当院で診させてもらうこともあります。脳卒中では、ずっと後遺症が残ってしまうこともあるので、診療は切れ目なく続けなくてはならないのです」と話す。

当院は、地域の医療機関や救急隊からの要請に応じて脳卒中患者の受け入れと急性期治療を迅速に開始できる脳卒中センターの役割をもっている。患者さんを受け入れて治療する



脳卒中相談窓口

だけでなく、治療を行う際に患者さんそれぞれが抱えている悩み事や相談に応じている。

そのひとつが、1階の患者支援センターにある脳卒中相談窓口で、患者さんが治療後に困っていることがあれば、無料で相談を受け付けている。後遺症やリハビリ、退院後の生活や福祉、介護、就労の制度などについて、対面で対応している。

脳 神経外科医からのメッセージ

脳の危険を知らせる「FAST」

- F**ace 顔がゆがんでいないか
- A**rm 両腕を同じ高さで固定できるか
- S**peech うまく話せない、ろれつが回らない
- T**ime 急ぐべき状態

この症状が出たら、すぐに救急車を

冬になると血圧が上がりやすくなり、脳卒中などの心配も増える。最後に、亀井医師と佐野医師から読者に知っておいてほしいとメッセージを託された。脳卒中の危険を知らせるとされる「FAST」という言葉だ。

「F」は顔(FACE)。顔がゆがんで、うまく笑顔がつかれない状態。「A」は腕(ARM)。両方の腕を同じ高さに保てない状態だ。「S」は話(SPEECH)。うまく話せない、ろれつが回らない状態。最後の「T」は時間(TIME)。急がなくてはいけなことを示している。これらの症状が出たら、すぐに救急車を呼ぶ。兆候を見逃さず、躊躇せずに病院に行ってもらいたいとのメッセージだ。

脳や神経は全身の動きに関与しているため、異常が生じれば、体にも異変が起こる。早く治療を始められれば、生活の質を低下させないでその後も生活できる。覚えてほしいメッセージだ。

三重県立総合医療センターの助産師の活動

当院の助産師は、助産師外来や母親教室などを通して、安心して妊娠・出産・子育てができるように母子に寄り添った支援をしています。



助産師外来

毎週 月・木 曜日



助産師外来では、妊娠初期から後期までの体調管理や生活上での相談対応をしており、産後では授乳や育児に関する指導、乳房ケアなどを行っています。産後2週間健診では育児相談、赤ちゃんの体重増加、母胎の回復やこころの健康状態に目を向け、丁寧にサポートしています。

母親教室

毎月 第1・第2 水 曜日

妊娠中の生活習慣や食事のポイント、適度な運動やストレス管理など、管理栄養士や産婦人科医を交えて講義しています。ご家族の参加も可能です。初めての妊娠の方も、安心して学べます。同じ時期に妊娠している方々と交流することで、情報交換や励まし合いの場にもなっています。参加のお申し込みは1Fの患者支援センターへ。是非ご参加お待ちしております。



アドバンス助産師が6名在籍しています



アドバンス助産師とは一般財団法人日本助産師評価機構が実践する「助産師実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ(CLoCMipレベルⅢ)認証制度」に合格し、標準的な助産ケアを自律して提供できる能力を客観視的に評価された助産師のことです。当院は6名のアドバンス助産師が活動しています。

地域のみなさまへ

当院では色々なご病気を抱えながら妊娠・出産をされる方がおられます。地域の医療機関との連携もしておりますので、妊娠・出産に不安を抱えながら過ごす中で、かかりつけ医にご相談いただき、当院でのご出産もご一考いただくと幸いです。助産師一同、全力でご支援させていただきます。

※当院は、他医療機関等の紹介状を持たずに直接来院して受診される場合、初診時選定療養費として診療費とは別に7,700円(税込)の料金をご負担頂いております。受診を希望される場合、近隣の診療所や、かかりつけの医療機関にご相談のうえ、紹介状をご持参頂きますようお願いいたします。

1階外来トイレをリニューアルしました



左から多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレ

当院の1階にあるトイレのリニューアル工事をしました。以前のトイレに比べて床の段差が無くなり、使いやすくなっています。

快適に使用して頂けるよう、これまで以上に衛生管理を徹底してまいりますので、安心してご利用ください。



多目的トイレ



明るい洗面台

令和7年度 第1回消防訓練を行いました



ストレッチャーを使用した避難訓練

令和7年8月20日(水)に院内消防訓練を実施しました。地震による火災が発生した想定で、通報訓練、避難訓練、消火訓練を行いました。避難訓練ではエアストレッチャーを使用し、階段での搬送を行いました。四日市消防本部にもご協力頂き、公設消防隊からの講評などがありました。



消火訓練



消防隊からの講評

生活習慣病教室を開催しました

令和7年10月16日(木)に、生活習慣病教室を開催しました。当院呼吸器内科医長の藤原医師が講師を務め、「ご存じですか？ COPD～たばこで起こるこわい肺の病気～」というテーマで、病気や予防の大切さについて説明をし、ご参加いただいた地域住民の方々は、熱心に聞いていた様子でした。

当院では、生活習慣病教室を定期的に行っています。開催のお知らせについてはホームページや院内掲示板に掲載しています。事前申込・参加費は不要ですので、お気軽にご参加ください。

※COPDとは？ 慢性閉塞性肺疾患のことです。たばこの煙、大気汚染、職業上の粉塵や化学物質などの有害物質が原因で肺が炎症を起こし、呼吸がしにくくなる病気です。



次の生活習慣病教室

- 日時 令和8年1月13日(火) 14:00～
- 場所 三重県立総合医療センター 7階講堂
- 講師 脳神経外科 黒田祐輔医師
- 演題 脳卒中は時間との勝負！～早期発見と予防のポイント～大切な人の命を守るために…

外来診療医師担当表

令和7年11月1日現在 最新の担当表はこちら



診療科	曜日	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜				
総合内科初診	1診	西田	1診	大泉	1診	藤原	1診	大須賀	1診	水谷
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木	2診	消化器内科(再診)白木	2診	循環器内科(再診)山田
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中(第1-3-5)/水谷(第2-4)	3診	西浦	3診	中澤(第1-3-5)/小林(第2-4)
	4診	井上	4診	森谷	4診	小林(午前)	4診	山中	4診	西浦
消化器内科・循環器内科	5診	糖尿病外来 住田	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田	5診(午前)	菅	5診	腫瘍内科 齋藤
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田	6診	林	6診	谷垣内
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内	7診	中嶋	7診	増田
ペースメーカー外来	-	-	-	-	-	-	-	-	2週・4週	担当医

※消化器内科水曜日の3診、消化器内科金曜日の3診、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉
	再診	-	-	-	-	2診	増田	-	-	2診(午前)	辻
	再診	3診	後藤	-	-	3診	児玉	3診	吉田	3診	藤原

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	北嶋	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	大学派遣医
	2診	尾嶋	-	-	2診	山本	2診(午前)	森本	-	-
	3診(午前)	毛利	-	-	3診(午前)	横江	-	-	-	-

小児外科	-	-	2診	内田	-	-	2診	内田(14時～)	-	-
------	---	---	----	----	---	---	----	----------	---	---

乳腺外科	-	-	1診(午後)	小島	-	-	3診(午前)	山下	2診	東
	3診(午後)	乳腺外来	3診	山下	3診(15時～)	乳腺外来	3診(午後)	乳腺外来	3診(午前)	乳腺外来
	-	東	-	-	-	-	(午前)	小島	-	-

※乳腺外来は完全予約制です。

形成外科(完全予約制)	-	-	-	-	第1週(9時～11時半)	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	第2週～第5週(13時半～15時半)	橋本	-	-	-	-

心臓血管外科／呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	-	-	1診	井上
	2診	庄村	2診	鈴木	-	-	-	-	午後予約制	田中

脳神経外科	1診	田中	1診	黒田	予約のみ	寺島	初診・再診	寺島	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来(佐野)※	-	-	-	-	2診	亀井
	-	-	-	-	-	-	-	-	午後予約制	脊椎脊髄外来

※脳神経外科第2週・第4週火曜日9時～11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部(第1-3-5)/伊藤(第2-4)	1診	河野(第1-3-5)/萩原(第2-4)	1診	掃部
	2診	河野	2診	掃部	2診	西垣	2診	萩原(第1-3-5)/河野(第2-4)	2診	伊藤

※水曜日の1診、木曜日の1診、2診は、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約のみ	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約のみ	杉山	2診	西森	2診	鈴木
	3診	太田	3診	荻野	予約のみ	大森／山口	3診	牧野	3診	林
	予約診	山口	-	-	紹介のみ	西森	-	-	予約診	山口

産婦人科	1診	前川(第1-4)/田中(第5)(初診)	1診	杉本(初診)	1診	河村(初診)	1診	竹内(初診)	1診	小村(初診)
	2診	杉本	2診	朝倉	2診	竹内	2診(午前)	田中	2診	河村
	-	-	-	-	-	-	2診(午後)	1ヶ月健診	-	-
	3診(午前)	南(第1-3-4-5)/田中(第2)	3診	小村	3診	前川	3診	たんぽぽ(助産師)外来	3診	朝倉
	3診(午後)	母体胎児診断(第1-3-4-5)/田中(第2)	-	-	-	-	-	-	-	-
	4診	たんぽぽ(助産師)外来	4診	リンパ浮腫ケア外来(完全予約制)	-	-	-	-	-	-

※月曜日の1診、3診は、第1週～第5週で担当が代わります。

整形外科	1診(午前)	膝関節外来 北尾(紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	1診(午前)	服部徹也(紹介・初診・股)	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介・初診)
	1診(午後)	-	1診(午後)	北尾(再診)	-	-	1診(午後)	奥山(再診)	1診(午後)	-
	2診(午前)	柿本(紹介・初診・膝)	2診(午前)	服部佳生(紹介・初診)	-	-	2診(午前)	中山(紹介・初診)	-	-
	2診(午後)	-	2診(午後)	服部佳生(再診)	-	-	2診(午後)	中山(再診)	-	-
	3診(午前)	服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)	柿本(リハ、再診)	-	-	3診(午前)	服部佳生(リハ、再診)	3診(午前)	中山(リハビリ、初診)
	3診(午後)	服部徹也(再診)	3診(午後)	柿本(再診)	-	-	-	-	-	-

皮膚科	1診(午前)	北川	1診(午前)	加古	1診(午前)	加古	1診(午前)	杉岡	1診	加古
	1診(午後)	加古	午後	褥瘡回診	午後	手術	1診(午後)	加古	-	-

泌尿器科	1診	神田	-	-	1診	中谷	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	-	-	予約診	神田	-	-	予約診	中谷
	予約診	中谷	-	-	予約診	伊藤	-	-	予約診	松浦

眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
----	----	----	----	----------	----	----	----	----	----	----

耳鼻いんこう科	1診	森下(初診)	-	-	1診	吉村(初診)	1診	森下(初診)	完全予約制	担当医
	2診	吉村(再診)	-	-	2診	森下(再診)	2診	吉村(再診)	-	-
	午後診	吉村(再診)	-	-	午後診	森下(再診)	午後診	FNA	-	-

精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

放射線科	1診	南平	1診	南平／野本	1診	南平／高田	1診	南平	1診	南平
------	----	----	----	-------	----	-------	----	----	----	----



休診情報はWEBサイトやこちらのQRコードからご確認ください

三重県立総合医療センターWEBサイト

<https://mie-gmc.jp/>

休診情報ページ直通▶



WEBサイトの閲覧が難しい場合は電話・メールでお問い合わせください。

電話／059-345-2321(代表) メール／sogohos@mie-gmc.jp